

市の考えを問う 一般質問

12月10日・13日・14日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。

Q 2期目の齊藤市政が進めるまちづくり
かないずみ ぶ き こ
金泉婦貴子 議員



A 訪れたいくなる、働きたいくなる、住みたいくなる鶴ヶ島



問 マニフェストに掲げた政策について。

答 子育てでは、産婦人科の誘致、相談支援体制の充実、待機児童ゼロの維持、学童保育の充実など、安心して子育てができるまちづくりを進めていく。

教育では、「生きる力」を育むために、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成することを目標とし、学校再編や施設の長寿命化に取り組み、良好な教育環境の整備、充実を図る。

市民生活では、避難所環境の向上を図るため、中学校体育館の空調設備の導入を進めている。また、市民センターを地域の拠点とし、地域団体などの連携を強め、課題解決の支援を行う。

問 三つの構想について。
答 Nゲージとガーデンパーク構想は、令和4年度に鶴ヶ島駅周辺のまちづくり構想を策定し、

5年度に整備計画を策定したい。また、つるの駅構想では、食をテーマに企業を誘致し、鶴ヶ島ブランドの直売所を設けるなど、鶴ヶ島グリーンパークエリアの一体的な活用を推進する。

そして、若葉駅周辺再々開発構想については、新たな民間企業が参入しやすい環境を整備し、若葉駅前出張所や周辺市有地を含めた一体的な事業展開を図る。

問 地方創生に取り組むために、国から示されたものは。

答 人口減少の克服と地域経済の活性化を主な目的とし、東京一極集中の是正、若い世代の就業・結婚・子育ての希望実現、地域特性に即した地域課題の解決の三つの基本的な視点から考

え方が示された。これを受けて市は、人口ビジョンと地方版総合戦略を策定した。

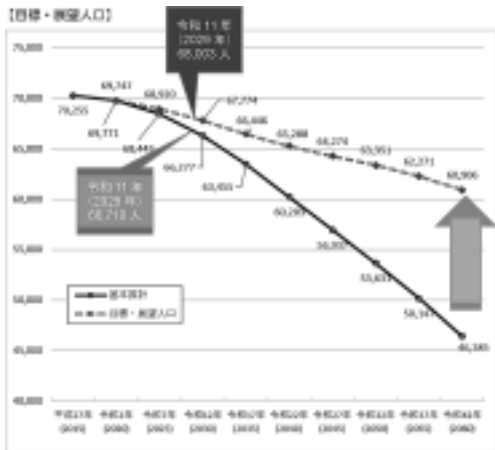
問 人口減少対策と地域経済の活性化にどう取り組んでいるか。

答 重点戦略の「子どもにやさしいまちづくり」及び「多様な働き方が実現できるまちづくり」により、一体的に推進しているところである。

問 兵庫県明石市では、離婚前後の養育支援などで出生率の上昇と人口増で成果を上げている。本市の状況は。

答 公平性・公正性・政策の実現性などを考慮すると財源の面で難しいが、子育て支援政策は市の重要な政策の一つであり、検討していきたい。

問 長野県飯田市では、市内の防犯灯のLED化について地元企業と連携した新事業で成果を上げている。地元企業と連携し、新事業を行う考えは。
答 市も企業と情報交換をして、話を進めていきたい。



Q 人口減少の克服と地域経済の活性化

おおた ただよし
太田 忠芳 議員



A 重点戦略により一体的に推進していく